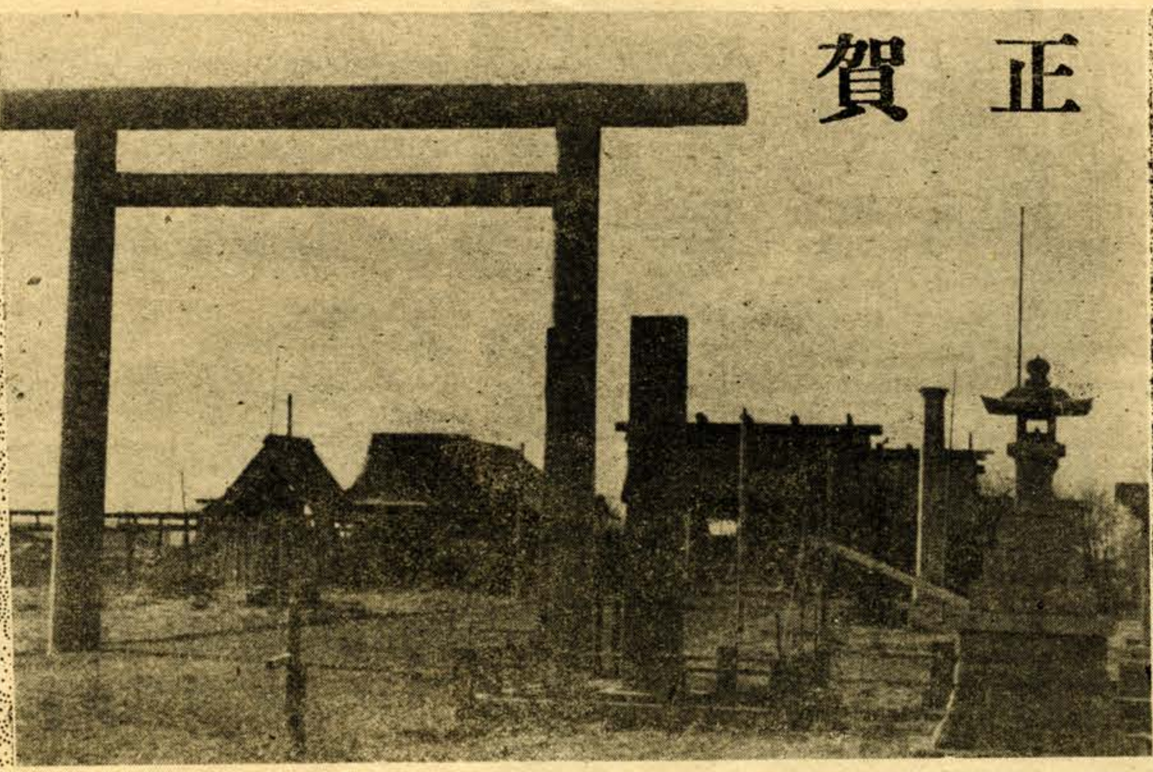
市政だより

苫小牧市役所
編集発行人
新岡正敏
印刷所
ナハタ印刷株式会社



港に船が盛んに出入

背後地整備、工場誘致にも本腰を

市長　田中正太郎

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。

皆さんと共に、また遠くソ連から御帰国の方々をもお迎えしてこの輝かしい希望に満ちた昭和三十二年の新春を祝うことのできましたことは、私の衷心から喜びに堪えないところであります。

昨年の暮わが国は、ソ連との国交回復につづいて、待望の国際連合への加盟並びに国内における政府の交替等目まぐるしい、しかもまことに重要な大変動に際会いたしたのでありますが、こうした一連の激しい動きの中に、私共は、何かしら前途に大きな飛躍と光明が約束されていることを観じ取ることができるのでありまして、本年に対し大きい期待を寄せるものであります。

言いふるされた言葉ではありますが、一年の計は元旦にありと申しますとおり、私たちは新しく今日から始まりますこの一年を昨年より更に一歩前進した、より良き年であらしめるよう、ともども決意を新たにし、ここに力強い第一歩を踏み出したいと念願いたすものであります。

昨年を顧みまして、最も残念に思いますことは、全道にわたる冷害により、当市におきましても農家の方々が懸命の御努力にもかかわらず、非常に御苦労をいたされておることでありまして誠に御同情に堪えないところであります。幸い関係当局の御支援を得て暫定措置を講ずることができたのでありますが、これに対して特に市民の皆さんから寄せられた熱誠こもる御同情に対しては深甚の謝意を表する次第であります。

さて、私は、過ぐる昭和二十二年皆様の御支援により市政を担当いたしましてから十年の歳月を数えました。この間、工業港の促進、工場の誘致をはじめ、民生の安定、教育の振興、文化生活の向上、商工農漁業の振興等その他大苫小牧建設のため重要な諸施策に微力を尽してまいつたのでありますが、一部を除いては充分とは言い得ないながらも昔日の感なきまでの成果を収め得ましたことはひとえに市民各位の絶大な御支援御協力の賜と深く感謝いたすものでございます。

しかしながら、年と共に人口は増加し、発展の一途をたどる当市といたしましては、諸施策が後進する結果となり、このためいずれの部門におきましても、いまだ重要案件が残存山積いたしておる状態であり、限りある財政力をもつて全般にわたりこれに対処することは中々容易ではないのでありまして、かく観じますとき、本年もまた誠に多端な年と言わざるを得ないのであります。目下来年度における諸事業の策定と、これに伴う予算の編成中でありますが、この実施に当りましては一層の御協力をいただきますようお願いいたしたいのであります。

特に本年において、私が努力をいたしたいと念願しておりますことは、工業港築設の促進とその背後地の整備及び工場誘致の問題であります。この問題につきましては今日まで皆様の強力な御後援のもとに推進してまいつたところでありますが、本年はいよいよ本腰を入れて取組まなければならない重要段階に突入したものと確信するものであります。

皆様御覧のとおり工業港の一部である漁港区につきましては着々その工事を進めすでに漁船、船舶も入出港して、今日私共の台所に直結するまでに及んでおるのでありまして、今年こそわれわれは真剣にこれを推進し、附帯施設の設置をも図りまして、大工業港完成への基礎といたさなければならぬと存ずるものであります。

つぎに工場誘致についてでありますが、北海道の地域的、経済的悪条件にもかかわらず、近時関係筋においても当市に対する認識はだんだん深まりつつある現状でありますので、この機会に一段の強力な運動を行い更に隘路等は極力これを究明、打開に努めまして、目的を達成したいと存じます。

更に、港湾背後地の整備計画は目下の急務であり、多少の困難を覚悟して、本年より是非実施に移したいと考えるのであります。

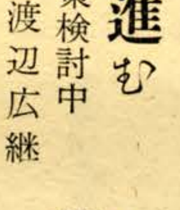
以上の懸案につきましては従来いずれもそれぞれの事情があり、今後更に困難の加わることも予想されるのでありますが、大工業港地帯の建設は当市数十年来の願いであると共に、今後百年の大計であり、更に本年こそ全期間を通じて最も重要な時期に当面していることを思いますとき、万難を排してこれに当らなければならないことを確信いたすのでありまして、市民の皆様の格別の御支援と御協力を賜わりますよう特にお願いする次第であります。

昭和三十二年の年頭に当り心から皆さんの御健康と御多幸をお祈りして御あいさつといたします。

都市的整備進む

冷害の恒久対策検討中

市議会議長　渡辺広継



市民の皆さま、あけましておめでとうございます。希望に燃える皆さまは、さぞさわやかな御気分と拝察いたします。遠く消えてゆく除夜の鐘にあたかも沿つて流れる如き、昨日と今日が、去年と今年という言葉におきかえられたこの元旦に、しみじみ人生行路を振り返るとき、また市政の歩みを考えるとき、深く感慨に打たれるものがございます。過ぎた三十一年を思いまするに、誠にあわただしい明け暮れであつたといえましょう。まず新春早々弥彦神社の事故に驚いたり、基地問題の一波乱や、更に地方自治法、教育委員会法、その他の法律の改正をめぐる国会の騒動等の国内問題また国際的には、〝ハンガリー及び中近東における大動乱、日ソ国交回復問題等枚挙にいとまないほどでありいずれも私どもを緊張させることばかりでしたが、十二月十八日の国連加盟決定と、在ソ同胞の引揚完了には、国民挙げてほっとした次第であります。

さて当市の場合を省みますに、なんと申してもまず冷害による凶作の問題が、誠に深刻でありました。一年間多大の労力と資本を投じて、なんらの収穫のない農家の方々に対しましては、誠に御同情のことばもございません。当議会としても当時いち早く冷害対策委員会を設けて、市の冷害対策本部とタイアップして、救済策に乗出したのでありますが、幸い他市に優れた緊急処置ができたことは、これひとえに市民の皆様の御協力の賜と深く感謝いたしております。なお恒久策として寒冷地における農業施策の、より抜本的研究と、実践の必要を痛感いたし、それぞれの機関で検討中でありますので、農民の方々におかれては、昨年に屈することなく、市民いな全国より寄せられた御厚情を再起の糧としまして、今年もどうか頑張つていただきたいと存じます。

つぎにどなたも注目している港湾築港の問題でありますが、幸い関係要路の深い理解と認識を得て、十分とまではいきませんが、予算も年々増加され、工事も目に見えて進捗しておりますが、とくに本年はこれが促進と、早期実現への歩を一段と早める必要がありますので、なお一層の協力態勢のもと、全市を挙げて努力すべきであると信ずる次第でございます。

さて三十一年度予算からみまして、当市は地方財政窮屈の折にもかかわらず、国道三十六号線の舗装、下水道の増設、また第四小学校の建築等、都市的整備のため、総予算の六十%を事業費に当てていますが、これは他都市にその類をみぬ、躍進的様相を物語るものでありますから、前途は正に洋々たるものがあると言えます。

更にこれに加えて、石橋新内閣もめでたく誕生いたし政局は一応の安定を示しておりますし、また国連加盟によつて国際的に一大飛躍をする礎石が打ち立てられたのでありますから、意義ある本年が、今から期待されるのであります。以上簡単ながら、いささか所感を述べ、市民の皆様の御多幸を祈念いたして新年の御挨拶といたします。

32.1.1

新年の夢

家を建てたい

苫小牧生活研究婦人会委員長
小池トヨ

新春……われわれ年代の者にはなんという新鮮な言葉でありましょう。

元旦のこのすがすがしき気持、慎しさ、この気持をいつまで持ち続けるかが問題である。

毎年のことながら私はこの朝を人一倍たのしく大切に過すことに努力をするのは物心ついて以来のことである。幼い日お正月に泣くと一年中泣きたくなる、親に叱られることもまた同様と聞かされた。観念的なことが今も残つているのかも知れない。しかし何一つ不善もなく馬鹿真面目な生活を五十才になる今日までしてきて、今もなお家一つ建たぬありさま、世渡りの下手なのを感ずるのもまた元旦である。自家にあこがれをもちはじめたのは三、四年前からだ。私より若い知人がこぞつて家を新築しているのを今さらのように気にかけだしたのもその頃からだから、精神年令は幼いと思うよりいたし方ない。借金はしたくない（或いはする勇気がないのかも知れぬが）人と争うことは何よりきらいで、人の喜びを自分の喜びとしたいと努力し、静かに下手な歌などをひねくつていたいなどというところに何一つできない人間ができあがつてしまつたのかも知れぬ。しかし私はそれをそう不幸とは思わぬ今日まで学校時代もまた家庭人となつてからも、至らぬ至らぬと自分としては、自分を哀れな気持で一杯であるのに、私の接してきたたくさんの友人知人は誠に立派な社会人で、本当に優しくよくして下さつたため、その点私は世の苦労というものを余り知らずに、白髪の目立つ年となつてしまつた。

毎年元旦にその思いを新たにして、私は幸であつたと思う。若し五十代に魅力というものがあつたら、それは社会への仕事でしょう。今年こそ本腰になつて小さな仕事にも誠意をもちつつ、私は私なりの夢を抱きながら手伝いをしたいと思う。

經驗生かして

苫小牧友の会々長
富士元登美枝

年が変るということは私どもの思いにも、生活にも一つの区切りをつけて新しく出直すことができて大へん嬉しいことです。昨年の動きは少いものでしたが、よき妻でありたい、よき母でありたいと念ずるとともに自分たちの力の一部を人のためにと思つて励む時に、私たちは思いがけない力が与えられることを痛感いたしました。

ことしは更に今までの経験の上に立つて衣食住をよくすることを続け、目に見えない精神的な面にまで及ぼしてゆきたいと思います。

国保と新規開業医診療協定

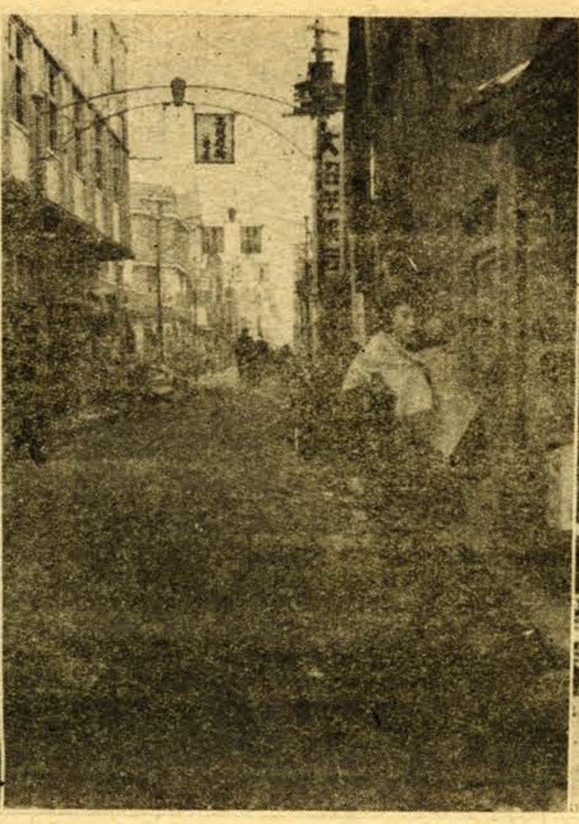
市では、近く新規開業の両医師と国保との間に診療協定を締結いたしましたから発効後は受診証を持参すると市立病院同様の取扱いになります。

▽矢代町十八番地高島浩蔵内科、小児科、放射線科（一月十日開院、同日から発効）

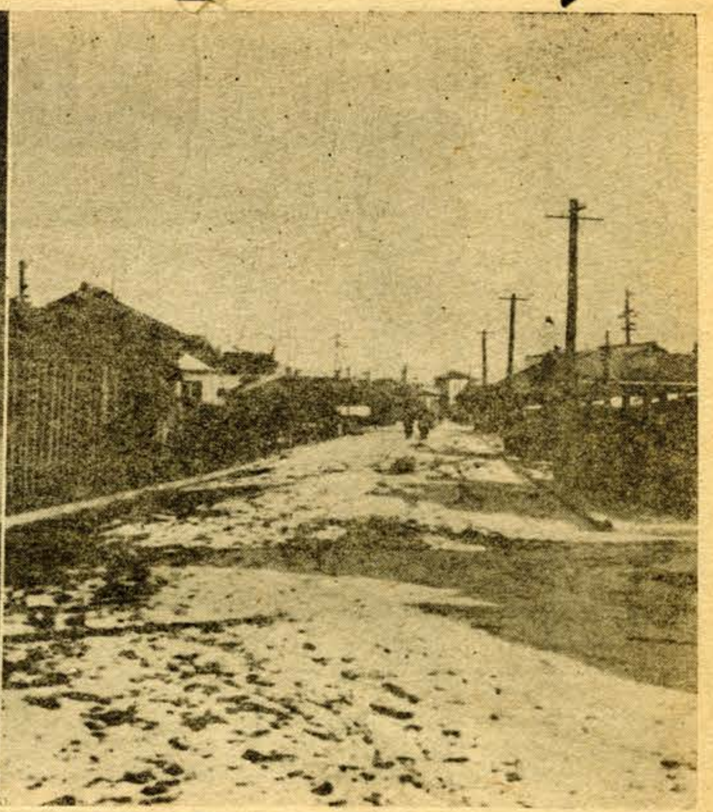
▽中野八十五番地山本原二内科、小児科、放射線科（一月七日開院、同日から発効）

わが郷土

きんの港の全景



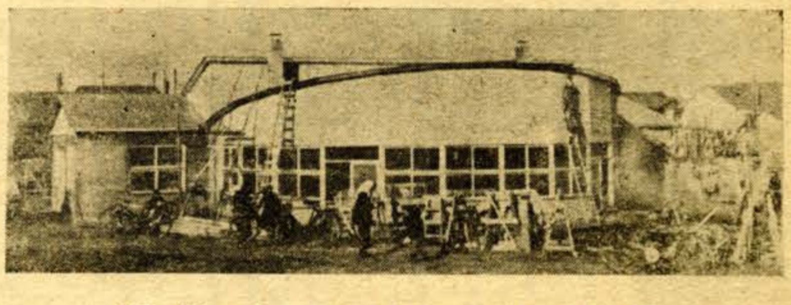
完成した東七丁目街渠敷設工事（大通りから旭館通りを経て二條通りまで）



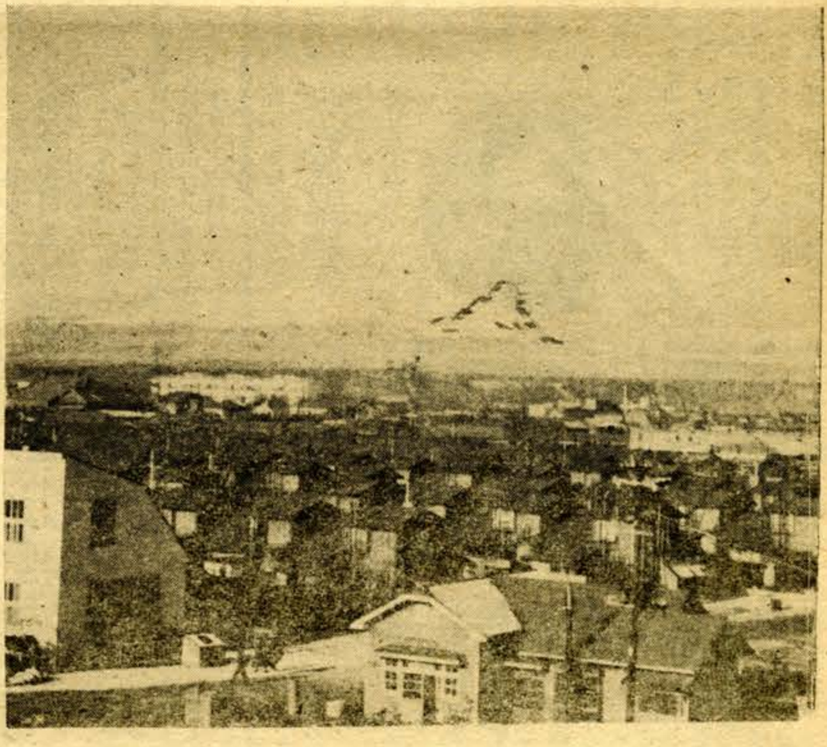
失業対策事業として立派に完成した栄町南四條[illegible]通りの街渠敷設工事

漑排水工事）

柏原地区の冷害救農土木事業（農道補修工事）

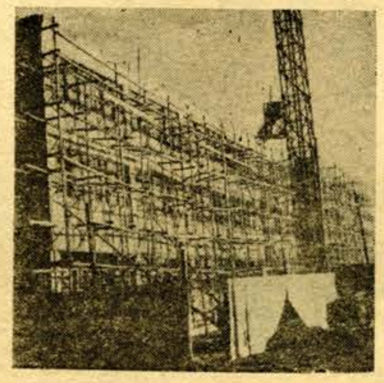


新築中の浜町保育所



市役所の屋上からみた樽前山

消防署庁舎



増築中の市立病院

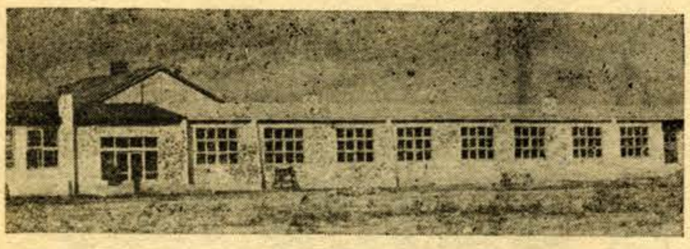
おめでとうございます

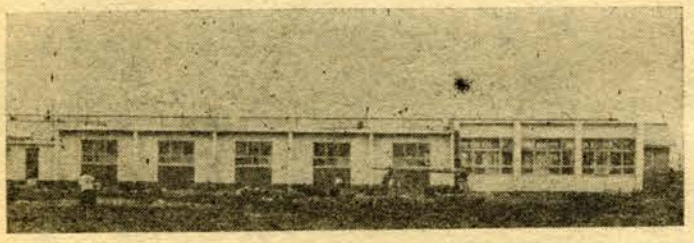
苫小牧市役所

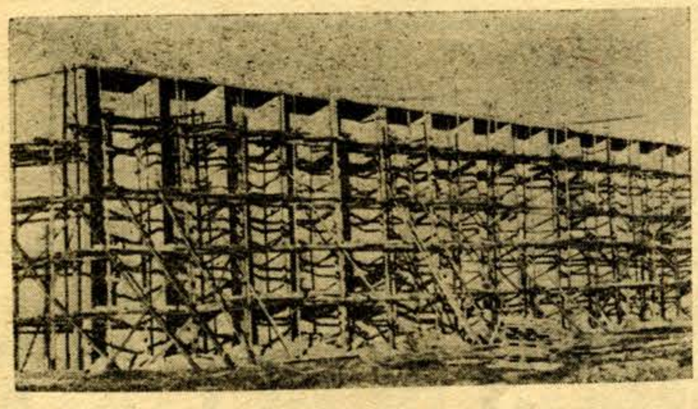
市長　田中正太郎
助役　大泉源郎
収入役　荻野大五郎
総務部長　新岡正敏
工営部長　秋田帯刀
総務課長　本山繁雄
税務課長　池田元治
農林課長　伊藤一男
商工水産課長　秋保武夫
財政課長　山下眞
保健課長　勝山正三
交通課長　柏木三治郎
土木課長兼都市計画課長　高野利雄
水道課長　吉田篤郎
建築課長　後藤弘義
福祉事務所長　森岡一男
勇払出張所長　秋元重則
企画室　荒川忠夫

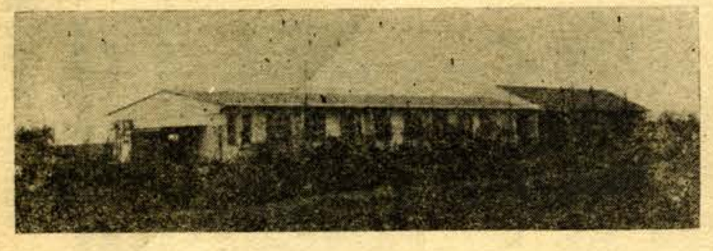
苫小牧市議会

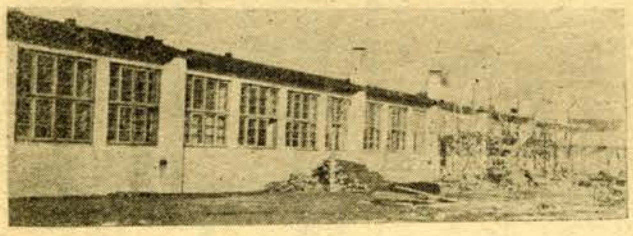
議長　渡辺広継
副議長　藤原博弥
総務委員長　佐々木瞭司
〃副委員長　中村重信
文教厚生委員長　塚田重
〃副委員長　鳥越兼次郎
産業経済委員長　格地正都
〃副委員長　本間敏幸
施設公営委員長　中村繁雄
〃副委員長　市岡吉男
港湾促進特別委員会委員長　深沢正男
〃副委員長　中橋隆平
工場誘致特別委員会委員長　相武吉治郎
〃副委員長　丹羽秀雄
文教厚生委員　遠山五十二
〃　田村繁
産業経済委員　蠣崎藏治
〃　竹田鉄夫
施設公営委員　田中創吉
総務委員　合坪正三
施設公営委員　松原沢光
産業経済委員　佐藤二男
施設公営委員　五十嵐泰
議会選出監査委員、総務委員　菊地善吾
総務委員　海堀つとむ
〃　岩本三郎衛


増築工事完成の勇払小学校


増築工事完成の勇払中学校


新築中の第四小学校

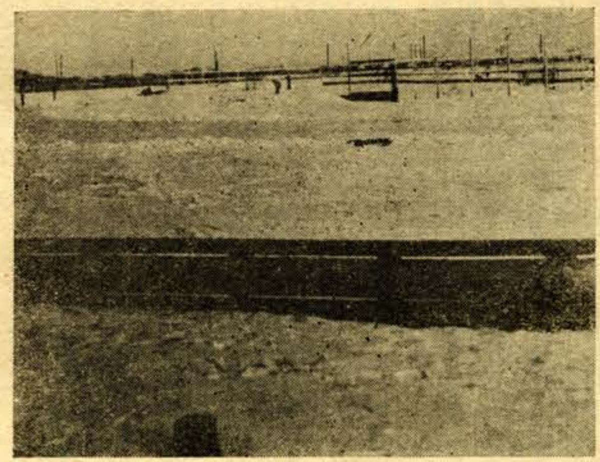

増築工事完成の凌雲中学校

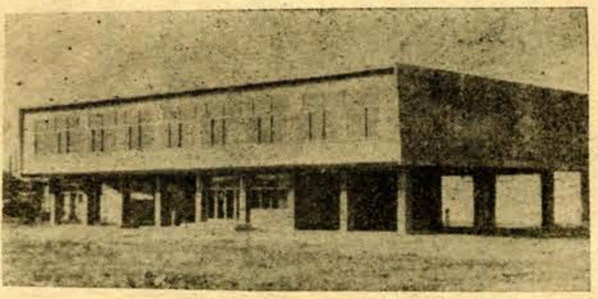

増築工事中の弥生中学校

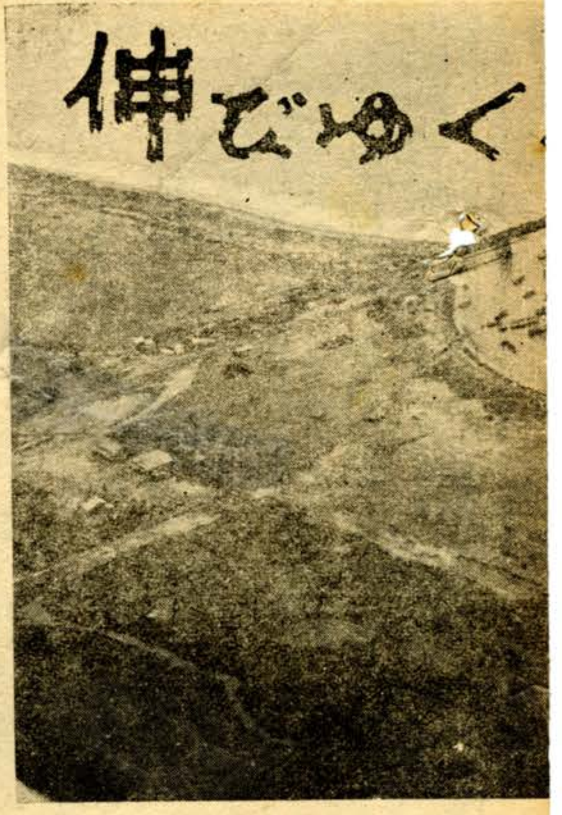
拡幅した大通り

西町の公営住宅

緑町の公営住宅

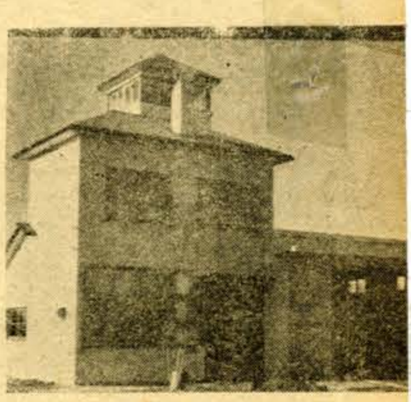

市営緑リンク


図書館



空からみたさい

樽前地区の冷害救農土木事業（灌


新築した消防署第二出張所（木場町）

施設公営委員　須佐惣太郎
産業経済委員　高坂永松
文教厚生委員　山崎勝雄
事務局長　篠原金治郎

苫小牧市教育委員会
委員長　瀬戸藤市
委員　門脇松次郎
〃　小野貢
〃　阿部悌甫
教育長（図書館長）　森田勇
公民館長　田中正経

苫小牧市監査委員会
監査委員　菊地善吾
〃　保利啓吉

苫小牧市選挙管理委員会
委員長　工藤政治
委員長代理　万谷直吉
委員　荒沢哲翁

苫小牧市農業委員会
会長　蔦森春明
外委員職員一同

苫小牧市社会福祉協議会
会長　菊地善吾

日本赤十字社苫小牧市地区
地区長　田中正太郎

北海道共同募金会苫小牧市支会
支会長　渡辺広継

苫小牧市民生委員協議会
会長　加藤虎雄

苫小牧市公平委員会
委員長　竹本清八
委員長代理　先田秀吉
委員　鷲津吉雄

苫小牧市消防本部
消防長　堀江政之

苫小牧市消防署
署長　堀江政之
次席　角田一郎

苫小牧市消防団
団長　倉田仁太郎
副団長　門脇松次郎
本部長　錦戸正一郎

苫小牧市立病院
院長　矢倉安太郎
副院長　牧田茂雄
事務長　押切三郎

市立自動車学校
校長　新岡正敏
教頭　外山聡雄

あけましておめでとうございます

ことしはボクたちの年です

ボクたちは植苗駅から北方2、8キロの地点にある株式会社苫小牧家畜中央農場の大きな立派なお家に住んでおります。ここは約100町歩のひろびろとした牧草地帯でこの恵まれた環境の中にボクたちブロイラー（若どり）はその名の如く若さと気力にあふれて元気ハツラツと育つております。いま仲間がざつと1万1千羽もおりますから、それはにぎやかなものです。自慢じやありませんが、こんな大規模なのは道内でもちよつと珍らしいそうですよ。何しろ27年に米国から輸入した先輩200羽がこんなにふえたというのですから、驚くでしよう。さらにことしは増産の自給自足態勢を強化拡充して5万羽に、また近い将来には10万羽を目ざしてがんばつております。では市民の皆さんもボクたちと一しよに明るい希望をもつて大いに飛躍いたしましよう。コケコツコー！

表彰に輝く

消防署員や団員40名

消防出初式

六日の消防出初式に表彰される消防署員、団員はつぎのとおりです。

道知事表彰

三十年以上勤続＝第三分団班長佐藤亀治、第四分団副分団長岩崎重雄、第二分団部長宇夫俊吾

二十年以上勤続＝第五分団班長原貫、第四分団分団長須佐惣太郎、第一分団副分団長本間富太郎、第三分団班長佐藤信、同消防員木津勇太郎

十年以上勤続＝（消防署）消防士長塩田圭祐、同横山友弥、消防士吉田正美（消防団）第二分団機械員吉川文博、第三分団班長西垣忠信、同機械員高橋勇三郎、同上田正一、同古川富重、同消防員成田長助、団本部部長吉本重治郎、第一分団機械員松尾正、第二分団機械員白取浅春、第三分団機械員浅野政吉、第四分団機械員金沢長男（王子消防隊）副本部長中野利雄、同副隊長佐藤二郎、同班長杉本正次、同消防員中野謙吉、同中山由太郎、同林幸作、同千葉敏雄、同港幸一郎、同機関員峰木作、同戸島貞男、同消防員遠藤常雄、同田中久男

道消防協会長表彰

三十年以上勤続＝第二分団部長宇夫俊吾、第一分団副分団長新保松次、王子消防隊部長片貝寅吉

二十年以上勤続＝第三分団消防員桐木豊、同機械員北孝一、同消防員佐藤性治、王子消防隊副本部長中野利雄

十年以上勤続＝（消防署）消防士長塩田圭祐、同横山友弥、消防士吉田正美（消防団）第四分団消防員石川静夫

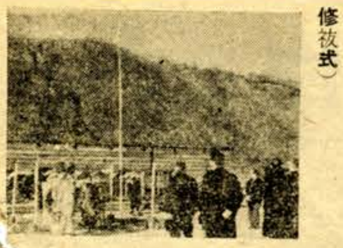
六日 消防署前で

市消防本部の恒例による出初式の日程はつぎのとおりです。

▽六日午前十時旭町消防署新庁舎前（消防本部、消防署、消防団一、二分団、王子消防隊）
▽八日午前十時勇払詰所前（勇払第五分団）
▽十日午前十時沼の端詰所前（沼の端第三分団）
▽十一日午前十時錦岡詰所前（錦岡第四分団）
▽勇払国策自警団の日時未定

緑リンク修祓式

改修成つた市営緑リンクの修祓式は、二十三日田中市長、市議会中橋議員、森田教育長、スケート協会役員など参列しておごそかに行われました。閉式後引続きリンク開きに移り、学童、生徒のミカン拾いなどを行い賑わいました。（写真は修祓式）



都計課の巻

都市施設擴充へ

都市計画税にご理解を

☆都市計画課は一昨年の七月に誕生したばかりで皆さまとのおなじみもうすいのですが、街路事業や建築申請等についていろいろと関係も多いことでありますし、他の課同様よろしくお願いします

☆課内の業務は大別して庶務係と計画係に分れますが、計画設計の技術面は計画係、事業実施に附随する事務は庶務係と不離一体の関係にあり、主なる業務はつぎのとおりです。

▽都市計画および土地区画整理事業
▽公園、緑地、運動場等に関すること
▽街路樹の植栽および管理
▽港湾の管理、運営に関すること

☆現在施行中の都市計画事業としては、大通りの街路事業および旭町の中央水路等の事業があります。街路事業につきましては、大通り期成会の皆さんのお骨折と関係者皆さんのご協力により本年度工事も立派に完成しましたことを厚くお礼申上げます。

☆土地区画整理事業につきましては、建築申請に関して以前からご協力を願つておりますが、建築にあたりましては、事前にご連絡をいただき、建物が予定道路にかかるとか、或いは換地計画にそごをきたすことのないようお願いします。予定道路に建物がかかりますとあとから移転や除去等の面倒な事態がおきますので、どうぞご協力下さい

☆街路樹は毎年補植してますが、十分な成果をあげていないのは遺憾です。街の歴史を刻んで街の発展とともにすくすく育つてゆく一本の街路樹にあたたかい思いやりをかけて下さい。

☆いま苫小牧の都市建設は、工業港を中心とした工場地域、住宅地域、商業地域、政治中心等の地域別或いは幹線道路網等の計画によつて整然と進められています。既成大都市に見られるような、無計画に人口が集中した結果生ずる混乱や弊害を避けて、あらかじめ準備をととのえて健康的な住みよい都市の建設を図りたいと念願しています。

☆最後に一言お願いします。都市は都市施設が整備されなければ機能を十分に発揮することができませんが、これらの整備は都市計画事業によつて促進が可能です。ところが、都市計画事業は一般公共事業よりも多額の資金を要するところから、こんど地方税法の一部改正により『都市計画税』が設けられました。事業の執行者は、国の助成措置をまつまでもなく、この税収入を事業費にあてて都市施設の拡充を図らなければなりませんので、本税に対するご理解を深められ、本税決定の際は、何分のご協力をお願いします。（都市計画課高橋）

全議案15件原案可決 昨年最終の市議会

第十八回定例市議会は、十二月十八日から会期三日間で開かれましたが、審議の結果のあらましはつぎのとおりです。

報告一号～五号いずれも報告どおり承認（省略）

請願第一号錦町一条通りの舗装工事を行つてほしいという請願は採択、理事者に送付。

陳情第一号勇払地区に公営住宅および独身寮を建築してほしいという陳情は採択

陳情第二号漁業協同組合を再建してほしいという陳情は議員協議会で保留となる

議案第一号一般会計予算追加予算（第七回）として総額三千三百五十一万五千十三円を提案、原案どおり可決。

議案第二號～第五号上水道事業（第五回）交通事業（第二回）市立病院（第二回）国保（第一回）各特別会計追加予算はいずれも原案どおり可決。

議案第六號人権擁護委員推せんについては別項のとおり。

議案第七号～第九号原案どおり可決。（省略）

議案第十号冷害農家の国有製炭原木（三千六百石）並びに販売用薪（一万七千四百石）を市長から苫小牧、白老両営林署に払下げ申請しようというもので原案どおり可決。

議案第十一号一般会計追加予算（第八回）として総額八百七十四万九千三百四十一円を提案、原案どおり可決。

議案第十二号～第十五号上水道事業（第六回）交通事業（第三回）市立病院（第三回）国保（第二回）各特別会計追加予算はいずれも原案どおり可決。

協議案第一号国策パルプ勇払工場から勇払小・中学校に寄附された教材教具（合計百五万八千三百二十円）採納については承認。

協議案第二号市役所職員などの年末手当は昨年どおり支給に決定。

人権擁護委員に鹿毛氏

十九日の本会議で一名増員となつた人権擁護委員に、西町十五番地鹿毛奥太郎氏（六七）（苫小牧信用金庫勤務）を推薦することになりました。現在市の人権擁護委員は遠山五十二、湯口チエノの両氏です。

工場誘致特別委員會と名稱變更

二十日の本会議で市議会の「木材総合加工工場誘致特別委員会」の名称を「工場誘致特別委員会」と変更することを可決しました。これは議員協議会で五十嵐議員から各種工場の誘致に動けるように名称を変更してほしいと提案があつたものです。

ホッケー地元選手十三名に

餞別十万円を贈る

二十日の議員協議会で、来春二月モスコワで開かれる世界アイス・ホッケー選手権大会に出場する日本選手団のうち地元出身十三名に対し十万円の餞別を贈ることになりました。

どうぞよいお正月を……

冷害農民救援 年末たすけあい “愛の金品”配分終る

二十日で終つた市の冷害農民救援並びに年末たすけあい運動で集まつた金品は、市内は二十五日二カ所（市役所、六区会館）で、部落は二十六日小学校や会館などでそれぞれ配分されました。この現金は総額約百四万三千円（寄附四十三万二千二百円、市から三十三万円、社会福祉協議会から二十八万円）に達し、これは生活保護をうけている貧困家庭や冷害農家など三四一世帯、一、四三七人を対象に一世帯につき（世帯割）一千円、家族一人につき（人員割）四百円の割合で配分され、またこのうち入院中のものや養老院施設などに収容されている人たち八十五人に対しては一人につき千五百円を贈りました。このほか衣類は一万三千点学用品四千七百八十七点、雑誌二千七百冊、米八俵、醤油三石二斗七升、ゴム靴三百六十六足その他百点でこれらも慰問金と一しょに適正に配分されました。なおこのほか冷害農民に対し特に市民から贈られた現金二万円と道から配分になつた八万円合計十万円は、市農林課から別に配分されました。

成人祭行事決る

市教委では、十五日の成人祭行事をつぎのとおり決めましたから、多数ご参加下さい。十二月十五日現在調査した成人該当者は八百名余ですが、まだ案内状（お年玉つき年賀ハガキ）がお手元に届いてない方は至急市教委にお知らせ下さい。

▽行事（午前九時、午後一時の二回、公民館で）
㊀成人式、㊁記念品贈呈
㊂レクリエーション
①歌と軽音楽
歌（HBC専属歌手特別出演、シルバーリング専属歌手）軽音楽（国策パルプ軽音楽団、シルバーリング）
②幸運の抽せん会

短歌

瀬田石智男

唐きびの煮ゆるを待ちて座りゐる子ら三人の昿原の秋

小池豊子

カロッサのことなど想ひ寝ねんとす限りもあらず過ぎてゆく日よ
舗装路へ斜めに降れる街の雪交叉する灯に一瞬映ゆる
言ひ合ひて互を傷つける虚しさは理性が許さぬ黙して終ひぬ

伊勢正勝

おのづから歳晩となりてゆく街を三階の窓に立ちて見たりき
雪国の平を過ぐる汽車にして夕光もなくたちまち昏るる

自動車学校の合格率は優秀

十三、十四両日市立苫小牧自動車学校で行われた普通車及び小型の自動車運転免許試験合格者がこのほど発表されましたが、一般受験者と比べて自動車学校関係の合格率がはるかに優秀でした。次回の試験は、普通車は一月十六日、小型車は十七日市立苫小牧自動車学校で行われますが、申込締切は五日です。なお受験者のため市立苫小牧自動車学校では、十日から受験科（一週間）を開設します。

学校と一般受験者との合格比率

種別		学校受験者数	合格者数	一般受験者数	合格者数
		人	人	人	人
普通車		40	23	25	0
	小型四輪車	16	10	12	0
小型	自動三輪車	12	6	22	1
	自動二輪車	1	1	6	0
	軽自動二輪車	1	1	14	1
	けん引車	0	0	3	1
合計		70	41	82	3

樽前山神社初詣で風景放送

早川工場長も御挨拶

新春にあたりNHK室蘭放送局から放送される苫小牧市関係の番組はつぎのとおりです。

▽元旦午前七時十八分から「初詣で風景」苫小牧樽前山神社と室蘭八幡神社を結んで（第一放送）阿部アナ担当
▽二日午前十一時五十分から「ラジオ年賀状」（第一放送）王子製紙苫小牧工場長早川昇氏
▽十三日（日曜）午前八時五十分から「家庭と学校の時間」に「苫小牧市の教育計画」というテーマで市教委教育長森田勇氏

今月の配給米

一月分のお米の配給はつぎのとおりです。

◎基本配給
▽内地米＝六日
▽準内地米＝二日
◎希望配給
▽内地米＝十日
◎特配
▽準内地米＝二日
合　計＝二十日

あとがき

▼ソ連との国交も回復し、国際連合への加盟もきまりようやくにして舞台中央に乗り出した晴れ晴れしさ、新内閣誕生による新しい政治への指向といつた大きな回転をみせてサル年も去つて新年を迎えた。そしてこの年は酉年だという。鶏のトキの声からの連想か、例年にない新春のすがすがしさが感ぜられる。まずは目出たい。

▼十年一昔と言われるが、苫小牧も市になつて十年になる。当時三万であつた人口は現在五万余を数えている。諸種の施設も漸次整備され、新興苫小牧の面目躍如たるものがある。しかし今日までのところは、都市としての遅れを取戻した程度のものであろう。今後とも自主自立の豊かな街づくりに努力しなければならない。

▼「市政だより」は、この市の発展のための市当局と市民の間に結ばれた太い民主的きずなであることに思いを新たにして活字を植えなければならないと思う。一段とご指導ご協力をお願いするゆえんである。（O）

一月分生活扶助費は十一日に支給

生活保護法による生活・住宅・教育扶助費（一月分）は一月十一日（金曜日）午前十時から午後四時までの間に支給いたしますから、該当者は当日時間厳守の上ご受領下さい。なお当日は印鑑を忘れずにご持参願います。

苫小牧市福祉事務所